2023-2024
Rotary 週報
国際ロータリー第2720地区
大分1985ロータリークラブ

第 25 回　　令和 6 年 2 月 26 日　　No.1693

会　長　坂　本　　肇
幹　事　姫　野　勇　人

例会日／毎週月曜日 12:30～
例会場／トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

Email：oita1985rc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ：www.oita1985rc.jp

会長スローガン

アフターコロナ新紀元
「Let's go for broke!」
―入りて学び出でて奉仕せよ―

2023－'24年度国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう

R I 会 長　ゴードンR.マッキナリー
RI第2720地区ガバナー　膳所和彦
大分第4グループガバナー補佐　吉良昌一

■ 本日のプログラム（2月26日）

12:30	点鐘	
	会食	
	ロータリーソング	「四つのテスト」
	ゲスト・ビジターの紹介	会長 坂本 肇
	会長の時間	会長 坂本 肇
	出席報告	出席担当 佐方文昭
	幹事報告	幹事 姫野勇人
	委員会報告	「関係委員会」
	ニコニコタイム	松川大介
13:00	次年度地区補助金プロジェクト全員協議会（1）	

＊ 今週のお祝い
会員誕生日　仲道　善隆会員（2月27日）

■ 第24回例会の記録（2月19日）

「司法改革と弁護士数の激増の影響」
河野　聡会員

・出席報告（2月19日）

会員総数	28 名
2 月 19 日	
出席免除	1 名
出席会員数	17 名
出席率	60.71 %
ゲスト	0 名
ビジター	1 名
1 月 22 日	
修正出席率	65.52 %

ロータリーソング　【四つのテスト】

真実かどうか　みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間（2月26日）　会長　坂本　肇

本日後半のプログラムが「次年度地区補助金プロジェクトの全員協議会（1）」となっております。そこでMy ROTARYの地区補助金のホームページについて紹介します。こちらでアップされている内容について地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。各地区は、この補助金を配分するプロジェクトを独自に選びます。**【地区補助金による活動の種類】**地区補助金は、地区やクラブの幅広いプロジェクトや活動にご活用いただけます。以下はその例です：人道的プロジェクト（奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など）、奨学金（教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし）、青少年プログラム（ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム[RYLA]、ローターアクト、インターアクト）、専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣（現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム）。地区補助金はさまざまな奉仕プロジェクトに柔軟に活用できます。地区補助金の要件については、ロータリー財団地区補助金　授与と受諾の条件をご覧ください。**【支給額と支給方法】**地区はDDF（地区財団活動資金）の50%までを地区補助金として毎年申請できます（50%全額を申請する必要はありません）。この50%は、3年前に地区が年次基金に寄付した額（および恒久基金への寄付の投資収益）によって生まれたDDFを基に計算されます。地区に一括して補助金が支払われた後、地区がクラブに資金を支給します。**【資格要件】**地区は、地区補助金に申請するにあたり、参加資格認定を受ける必要があります。**【クラブが地区補助金を申請するには？】**地区補助金の利用をクラブが希望する場合、地区に直接申請することができます。地区補助金のプログラムは地区によって異なります。利用可能な資金、申請書、指針、締切日、その他の必要条件について地区にお問い合わせください。となっております。お時間のある時に一度、サイトをご覧ください。
https://my.rotary.org/ja/take-action/apply-grants/district-grants

卓話の時間　司法改革と弁護士数の激増の影響　（2月19日）

河野　聡会員

Ⅰ　司法改革と弁護士数の激増

1　司法改革の流れ

⇒司法界の障壁を無くし弁護士を使いやすくするアメリカ、財界の意向

ア　1999年、内閣に司法制度改革審議会が設置
2001年に「司法制度改革審議会意見書」が取りまとめられた。
同意見書に基づき、「国民に身近で、速くて、頼りがいのある司法」を実現するため、司法制度改革が実施された。
2001年12月　司法制度改革推進本部　内閣に設置
2001年末までに24の司法改革関連法が成立
⇒日本司法支援センター（法テラス）、裁判員制度なども

イ　主要なテーマは法曹養成制度改革
2004年4月法科大学院創設
〔2010年までに司法試験合格者3000人というかけ声〕
2006年から新司法試験の実施
2011年から予備試験実施

ウ　2006年10月には日本司法支援センターが業務を開始
2009年5月から裁判員制度が始まる。

2　弁護士数の激増

20年で約2.8倍
裁判官、検事の数はそれほど増えていない。

3　司法試験合格者数増加による弊害

ア　合格者増による質の低下

イ　若くて成績が良いだけの人間が裁判官、検事になる。
裁判官、検事希望者に対する「逆肩たたき」

ウ　弁護士になっても食えない若手が急増
弁護士志望者の減少による法科大学院、司法試験受験者の減少
〔法科大学院の閉鎖が相次ぐ〕
→法曹界全体に優秀な人材が集まらなくなっている。

Ⅱ　弁護士数激増の影響

1　競争の激化と食えない弁護士の増加

ア　弁護士数の激増と法テラスにより「マチ弁」の収入減少

イ　弁護士の２極化⇒都市部の大規模ローオフィスと「マチ弁」
４大、都市部企業系ローオフィスから順に就職が決まっていく

ウ　企業内弁護士の増加

エ　人権問題に取り組む弁護士の減少→人権問題化石化現象

2　利益優先主義弁護士の増加

ア　広告の拡大とだまされる市民の増加
a　過払金、Ｂ型肝炎、残業代、不貞の慰謝料まで
→大量処理によるずさんな解決で高額な報酬
b　大量に顧客を集めてまともな処理をせず逮捕される案件も
→ロマンス詐欺被害救済事務所

イ　若手のマチ弁も利益至上主義に走る傾向

3　横領する弁護士の増加

⇒２、３により弁護士に対する社会の信頼が低下している。

Ⅲ　弁護士会・日弁連の現状

弊害を改善する動きがほとんど見られない。

1　日弁連の社会的発信力の低

営利主義の弁護士が幅をきかせている。

2　弁護士会の閉鎖性

社会的信頼の低下に対する感覚が低い。

⇒日々の弁護士業務を通じて、弁護士の社会的信頼の向上を意識していくしかない。

以上

幹事報告

・西宮恵比寿ロータリークラブよりお知らせ
当クラブ会員　近藤修平プロデュース映画「にしきたショパン」が2/23～29日まで別府ブルーバード劇場にて上映されることになりました。

・くにさきロータリークラブ創立40周年記念誌発行のご案内

・RYLAセミナーin久住
日時　2024年4月27日（土）～29日（月・祝）2泊3日
場所　久住スポーツ研修センター
参加者　20歳～30歳程度の青少年（先着30名）
登録料　受講生10,000円　ロータリアン20,000円

ニコボックス

★仲道　善隆会員（１口）
昨日、熊本城マラソンを4時間55分にて無事完走しました！

★※修正　追加2/5（月）バレンタインチョコのお返しとして男性陣より1口
佐方　文昭会員

委員会報告

・大分第4Gガバナー補佐　吉良昌一会員より
2/3 IM御礼・収支報告を回覧しました。

・会長エレクト　穐田　英一郎会員より
次年度公式訪問の日程アンケートについて
8/26（月）～8/30（金）にて希望
単独クラブか複数クラブについては一任

ゲスト・ビジターの紹介

ビジター：吉野　宗也様（大分中央RC）

例会の予定

■ 3月 4日（月）　次年度地区補助金P全員協議会(2)
■ 3月11日（月）　ゲスト卓話　木村なぎさ様
■ 3月18日（月）　創立記念例会　19:00～割烹にしおか
■ 3月25日（月）　クラブフォーラム　コンパル昼例会
■ 4月 1日（月）　花見例会
■ 4月 8日（月）　ゲスト卓話
■ 4月15日（月）　職場例会
■ 4月22日（月）　次年度組織発表